

編集：笠幡病院 広報委員会

発行：医療法人 笠幡病院

発行日：平成16年10月

き づ な



▲病院全景



◀新館正面玄関

当笠幡病院が新たなスタートを切つて早4年がすぎました。その間、近隣の皆様から、常に暖かいご支援を頂き今日まで無事運営することが出来ました。この度、遅ればせながら病院の広報誌「きづな」を発刊することになりました。お近くにお住まいで、まだ病院をご存じない方は、是非これを機に笠幡病院を知る機会として頂きたくよろしくお願い致します。

また、同様に外来においても、全身の痛みに対する専門治療を受けることが出来ます。当院にかかりつけの患者様においては、年齢に関係なく急性期の入院にも対応しています。ドクターは、一般内科・消化器・呼吸器・神経内科・麻酔科・皮膚科・口腔外科等の医師が随時診療を行います。現時点では、外来を内科・歯科の2診で行つてあります。ですが、地域のニーズに合わせて増設を検討しております。更に、通院が困難な場合は、送迎のサービスも行っておりますので是非ご相談ください。ご近所のかかりつけ医として、お気軽にご相談頂ければ幸いです。私は、患者様は常に家族と考えて、誠心誠意対応しております。

当院は有名な霞ヶ関カントリーに隣接する、緑豊かな環境にあります。病棟数は136床で、特に介護を必要とされる65歳以上の方を対象とする療養病院です。特徴としては、療養病院としては非常に珍しく、痛みの治療が可能なことです。ご老人は、何かしら痛みを抱えているモノです。しかし、これまでその訴えは正当に扱われませんでした。長期療養を余儀なくされるお年寄りに、少しでも快適に療養して頂きたいと考えています。



院長 福留 健之

発刊にあたって

七 夕



お花見



「バレーボール大会を終えて」



4月、初めての西中学校での練習が始まりました。集まつた人数が最初は少ないなあと思いました。しかし、何日か練習を重ねていって、くうち、人数も集まり、だんだん一人一人のレベルが上がっていくように思えました。そして、試合当日。1回戦負けで1セットも勝てずに終わってしまいしました。やつたからには勝ちたかったので、とても悔しかつたです。何が足りなかつたの

かをみんなで考えてみると、もう少ししつかりとした基礎の練習が必要だつたのかなと思います。たくさんの職員の方が応援に来てくださったのに、残念な結果になつてしまつた。けれど、選手の方は練習した以上に頑張つたと思います。来年こそは、1回戦負けしないように、頑張りたいと思います。お疲れ様でした。

病院理念

愛し愛される病院

実行方法

- 医療、看護、介護サービスの向上に努める
 - 地域住民の医療、介護、福祉に貢献する
 - 医療関係機関と密接な連携を推進する
 - 医療職員の自覚と、常に学び、研修教育の充実を図る
 - 笑顔を忘れず誠意を持って接する

基本方針

- I, 誰に対しても笑顔で挨拶のできる職員
 - I, 患者様が納得する安全な医療の提供
 - I, 地域で認められる病院に誇りと責任をもつ
 - I, 医療機関との連携による信頼関係の強化
 - I, 災害対策と院内感染防止には全職員が一丸となって取り組もう

看護の日



「看護の心をみんなの心に」を
メインテーマに5月15日(土)
かすみ野住宅団地自治会館広
場にて、看護の日のイベント
が行われました。家庭や地域に、
そして職場に看護の心・ケア
ーの心・助け合いの心を育み、
分かち合い、大切にするとい
う思いを込め、病気を予防し、
軽いうちに治癒させ、温かな
慰めの心、豊かな心が大きくな
広がることを願つてのイベント。
おかげさまで天候にも恵まれ、
37名の地域住民の皆様に参加
頂き、様々な相談、お話を出来、
地域の皆様と交流を深めるこ
とが出来ました。今後とも地
域に根付いた病院でありたい
と願っております。

一言の挨拶と信頼

笠幡病院に入院して3年目になります。当時、家で介護をしておりました。介護は本当に大変な事です。自分の親は家で見えて一緒に生活できたら、幸福な事です。それは当たり前の事でしたがない介護している自分がいつも間にか大変な事になつてきました。昼夜も寝てくれなくなり、3ヶ月間どの様に生活してきたのか私自身が今だに記憶にないのです。自分にも限界がありました。親に手を掛けてしましました。何も分からなくなつていた親を抱き締めて、「お母さん、ごめんなさい」と言つたのだろう。なんて事をしてしまったのだろう。家族に知れてしまい、これは大変な事になると家族の協力で私を現実に戻してくれました。初めて笠幡病院に息子と私の弟が見に行つてくれました。全体的に清潔で看護師の皆さんを感じ良く

面談して入院が決まりました。面談の時の私の顔を見て、私が患者ではないかと思われたのではないかと今でも思うのです。母と共に入院する為笠幡病院に来ました。入院の時色々と聞かれました。「何でも隠さず話して下さい」とやさしく話してくれました。 「頑張つたんですね」「これからは大丈夫。任せてくれ下さい」と言わされました。その言葉が今でも頭から離れません。皆様の声掛けで「ご苦労様でした。気をつけに日に良くなつてきました。帰つて下さい」と言つて頂き、安心して帰る事が出来るのです。

人一人事情があり入院してきているはずです。笠幡病院の福留院長先生は、入院患者に朝早く来て一人一人に声を掛けて患者の状態をよく見て頂き、先生の様な方はどの病院にも居ません。そして婦長さん、看護師さん、ワーカーさん、私達家族は助けて頂きました。毎年各病院すばらしい成果が生まれている当初は、メンバー以外の者には越えたメンバー構成で、効率の良い仕事をするための問題解決の手法であるワークアウト、AMGでのワークアウトの取り組みは平成13年度から始まりました。

こここの病院関係者の皆様に大変良くしていただき、家で見ることが出来ない状態の中、本当に親切に看護していただき感謝しております。スタッフの方達の働いているところを見ているので、少しでも手伝いが出来ればと自分に出来る事をさせていただいております。患者を扱う仕事とは、側で考えている以上に大変な仕事だと、頭の下がる思いで感謝です。

病院で働く皆様のチョットした一言の挨拶が、患者又家族にとつて1日気持ちよく過ごせるのではないでしょうか。

人の命を預る大変な仕事ですが、笠幡病院をより良い医療にする為にもスタッフ一同一丸となつて「ご褒美」を戴いた。これは全職員が心を一つにして選ばれる病院になるため働いた結果勝ち得た超大型の「嬉しい」である。この喜びをバネに16度ワークアウトのメインテーマ標準化医療機能評価受審を目標に更に全職員の心を一つにして努力を積み重ねて行きたい。

全職員の心がひとつに
”ワークアウトから“

家族より一言

父親が笠幡病院に入院させていただきまして3年お世話になる日がきます。



看護部長
森田 洋子

上地 町子

リハビリ言語療法室



原 和永

こんにちは。リハビリティーション科言語聴覚士の原です。言語聴覚、言語療法って何? どんな事をするの? という方も多いかと思います。

言語療法とは、音声・構音・言語機能・高次神経機能または、聴覚機能などのコミュニケーション機能に障害のある方、摂食嚥下機能の障害のある方、あるいは家族など周囲の人々に対して、音声・言語訓練・摂食嚥下訓練・検査・指導・助言などを行う事です。

笠幡病院では、高齢者・慢性的な患者様が殆どで、发声練習や口を動かしたり、言葉が出てこない方に対して想起訓練等、維持的な訓練や新たなコミュニケーションの開発などが中心です。楽しく他の者とのやり取りができる様に働きかけています。

入職してこの8月で丸2年になりました。こここの病院で日々は言語聴覚士は自分一人で、様々な困難も多くの事もありますが、リハビリスタッフを始め、病院の他スタッフの皆様、また、患者様にも支えられながら、ここまできました

常に患者様の立場にたつと
いう基本を忘ることなく、
これからも切磋琢磨して頑張
つていきたいです。よろしく
お願いします。



歯科

最近は寝返りもでき、下の体は大きく(テフ?)誰よりも足が太いが短い。
顔に思わず顔がほころびます。まるな顔で目がぱっちり「ニヤツ」と愛嬌たっぷりな笑



早9ヶ月にな
ります。まん
ゆつたりとくつろげ
る6帖間

明るい家庭的雰囲気
で食事
家庭的ユニットバス、
ゆったりスペース
広く、明るい
住宅地内でスーパー、
コンビニ、食堂、公
共施設あり、駅徒歩
5分

防災のため、タイル、
力ペット使用
施設内は入居者転倒
ごす家族談話室あり
笠幡病院が24時間体
制で対応

グループホーム案内

グループホーム鶴ヶ島

平成16年11月オープン

「グループホーム」とは、痴呆性高齢者が、個人の生活を尊重されつつ、家庭的な雰囲気の中で専門スタッフに見守られながら少人数で日常生活を送るための住居です。

同生活を送るための住居です。「お互いに支え合う施設」を理念に、朝は「おはようございます」の挨拶から:お料理は入居者の方々にスタッフがやさしくお手伝い:楽しい会話をしながらの食事、食後は散歩、買物、地域行事等々に出かけ、快適でゆったりとした暮らしをお手伝いさせていただきます。



TEL
住所
○四九二八七七四〇五
鶴ヶ島市大字上古谷六五二一



ラウンジ

病院概要

歯科

名 称
医療法人 笠幡病院
〒三五〇一一七五
埼玉県川越市笠幡
四九五五番地一号

こんにちは。
新井 大翔 (だいと) です。
平成16年1月30日誕生し

我が家のおまん

■概要
居室定員 18名 (全個室) 冷暖房完備
使い慣れた家具装飾

特徴

和室
環境
風呂
食堂
和室
品持込自由
ゆつたりとくつろげ
る6帖間
明るい家庭的雰囲気
で食事
家庭的ユニットバス、
ゆったりスペース
広く、明るい
住宅地内でスーパー、
コンビニ、食堂、公
共施設あり、駅徒歩
5分

TEL
○四九二二三一一一一
ホームページアドレス
<http://www.kasahata-hospital.or.jp/>

開設

昭和五十七年二月二十一日

看護単位

病床数 百三十六床
三病棟

看護基準

看護師 (五・一)
看護補助者 (四・二)

施設基準

療養病棟入院基本 (一)
理学療法施設 (II)
作業療法施設 (II)
言語療法施設 (II)

各種加算

内科 (呼吸器科・循環器科)
神経内科・皮膚科
麻酔科 (痛みの外来)
リハビリ科 (口腔外科)
歯科

外来診療科目
夜間勤務等 (四)
環境・特殊疾患

休診日 月曜日～土曜日
診療日 日曜日・祝日

時
午前9時00分～午後6時00分